

2021 年度
北里大学外部評価結果報告書

2021 年 7 月 28 日
北里大学外部評価委員会

目 次

【学位授与方針】 評価結果 P. 3

【教育課程の編成・実施方針】 評価結果 . P. 4

【学生の受け入れ方針】 評価結果 P. 6

【整合性】 評価結果 P. 7

北里大学外部評価委員会委員名簿 P. 8

【学位授与方針】

1-1 学位授与方針は、修得すべき知識、技能、態度等の学習成果が明確に示され、授与する学位にふさわしい内容となっているか。

《概評》

- ・それぞれの学部・学科で修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を言語化していて、目標としての学習成果が明示されている点は評価できる。教員がそれらを議論・共有し、意識して授業やカリキュラムを組み立てる、見直すという意義はとても大きいと思う。
- ・学位授与の方針は「どのような力を身につけたか」を示すものである。医学部の詳細なコンピテンシーを除き、全体的に「～の資質・能力」のような記載が多いように見受けられた。具体的に「何ができるようになるのか」を概略でも記載するとより良いと思われた。
- ・資格取得系の学部学科については、それらの取得を基本とするのであれば、それプラスアルファで何を身につけるべきかがわかるとよいのではと感じた。

《長所》

- ・すべての学部・研究科の学位授与方針において、それぞれの分野で検討がなされ、育成すべき資質について方針が明確に示されていることから、評価できる。

《課題》

- ・同じ学生が北里大学内の学部を比較検討するわけではないので、各学部の DP が同じような形式である必然性はないが、学部によって分量・DP の数等の違いも大きい。各学部各学科とも 3 ポリシーで 1 ページ程度のものでもよいのではないか。
- ・全体的に「～の資質・能力」のような記載が一般的かと思慮された。少し具体性を付加してもよいかもしれない。
- ・学部、修士、博士といった段階の違いがわかりづらい。

1-2 学位授与方針は、媒体や表現の工夫等により、情報の得やすさや理解しやすさに配慮されているか。

《概評》

- ・すべての学部・研究科において、育成の目的が示され、修得すべき資質・能力が項目で整理されており、明確でわかりやすい構成となっているが、学生の到達点としての資質・能力を具体的に理解することが難しい領域もあるように思われた。
- ・資格系であるからこそ特徴が出しづらいのかもしれないが、医療系総合大学の強みを活かし、他大学と異なる特徴がもう少し明確にあったらよいのではないかと感じた。

《長所》

- ・学生がどのような資質・能力が培われるのかについては記載がなされ評価できる。

《課題》

- ・もう少し具体的な表現方法があってもよいと思われた。

【教育課程の編成・実施方針】

2-1 教育課程の編成・実施方針は、教育課程の体系、教育内容、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態など、教育についての基本的な考え方が明確に示されているか。

《概評》

・概ねすべての学部・研究科において、教育課程の方針が明確に述べられているが、研究科を含めて各ポリシーをどのように評価するかについて記載があるとよい。

・「北里大学の強み」①附属病院と連携して行うチーム医療教育、②世界をリードする先進的な教育・研究、③生命に挑み、その歴史を塗り替え続ける北里の挑戦等が、どのように教育課程編成に組み込まれているのかがわかるとさらによいのは、という印象を抱いた。

・学部によって分量の違いが大きい。

《長所》

・多くの学部学科・研究科の教育課程の編成・実施方針が、学位授与方針に結び付けられて示されている点や、科目群によってどのような資質・能力を育成しようとしているかが明確である点が評価できる。

《課題》

・全学共通科目、一般教養等について位置づけや特徴がわかりづらい。医療系大学ゆえの、北里大学ゆえの全学共通科目、一般教養科目はないのか。

・薬学部ではどのような教育課程の内容・方法を通じて、どのようなディプロマポリシーを実現しようとしているかが書かれている点はわかりやすい。ただ一方で、それほど単純に説明し得るものなのだろうか、という疑問も抱いた。

・たとえば、「チーム医療論」など、医療系学部が複数ある大学だからこそ開講できる科目であり、卒業後の現場でも重要な観点だと思うが、必修でなかったり、学部によって記載があったり、なかったりするのなぜなのか、気になった。

2-2 教育課程の編成・実施方針は、媒体や表現の工夫等により、情報の得やすさや理解しやすさに配慮されているか。

《概評》

・教育課程についての情報はほぼ学部において統一的であり、理解しやすさもある。

・カリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーがあるほうが、詳しくないものから見て教育課程の全体像は理解しやすい印象を受けた。媒体・表現等の工夫の効果は大きいと思う。

《長所》

・すべての学部学科・研究科で、学位授与方針との対応が読み取れる点が評価できる。

・獣医学部や理学部などの記載が簡潔でわかりやすい。

《課題》

・「カリキュラム・ツリー」で表現される科目等の順序性や授業の形態、選択肢等の表現が、志望者・在学生にとって理解しやすいので、教育課程の編成・実施方針では育成したい資質・能力との関係や特色ある学びについて、方針を説明する表現とし、「カリキュラム・ツリー」と合わせて読むことを期待する構成とするなどの、工夫を検討することが望ましい。

2-3 「カリキュラム・ツリー（履修系統図）」は、学生が身に付けることが期待される知識・技能・態度と授業科目との間の対応関係や学修の道筋が示されているか。

《概評》

・カリキュラム・ツリーの体系化はほぼできていると思われた。学部により構成・表現の違いはあるものの、良く工夫されてできている。

《長所》

- ・獣医学部、医学部、看護学部など、どの科目が必修科目かどうか分かる点がわかりやすい。
- ・看護学部のカリキュラム・ツリーは、色の使い方と記号化によって教育課程全体を把握しやすい点が評価できる。
- ・医療衛生学部や海洋生命科学部は学位授与方針との関係が明確である点で評価できる。
- ・獣医学部のカリキュラム・ツリーは、どのディプロマポリシーを達成するために、どのカリキュラムポリシーが必要で、それがどの学年・科目に対応しているのかがわかりやすい。

《課題》

- ・看護学部・薬学部のカリキュラム・ツリーは、3つのポリシーの関係性がわかりづらい。
- ・●●系・○○領域といった表現が、教員側からは理解しやすいが、どういう意味を持ち、それらは必修か選択かなども含めて、どのように読むのか、学生等にはわかりづらい。
- ・北里大学に特徴的な科目（独自でおいている科目、単科大学でないがゆえに他の学部のものも履修できる等）があれば、そういう特徴が見える化されると受験生には参考になるのではないか。

2-4 「カリキュラム・マップ」は、学位授与方針に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのか、示されているか。

《概評》

- ・概ね、各学科において教科と学年の関係性は記載されていると思われた。

《長所》

- ・学位授与方針との関係性が整理されている点は評価できる。

《課題》

- ・文章だけ読んでも理解しづらいディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの具体像がわかりやすいので、基本的にすべての学部学科で、カリキュラム・マップあるいはカリキュラム・ツリーは作成してもよいのではないか。

【学生の受け入れ方針】

3-1 学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法が明確に示されているか。

《概評》

- ・全般に「水準」の記載は認められない。
- ・入学者受入方針として、試験区分ごとの選抜方針が示されていることは評価できるが、そこまで細かな区分は必要ないような印象も受ける。どうしても抽象的に書くので（基礎的〇〇等）、水準が分かりやすいかと言われれば、限界はある。なぜそうした学習歴や学力水準が入学する際に必要なかをわかりやすく伝える方が大事なのではないか。

《長所》

- ・入学者選抜の選考方法と読み合わせることで、志望する学生が何を努力・準備をすればよいかまで読み取ることができる点は評価できる。
- ・具体的な職業を目指す分野については、「〇〇になるという強い意志を持っている」といったことが書かれていて、わかりやすい。

《課題》

- ・入試方式別に書かれているが、どの入試方式であろうと共通に求める姿・能力と、それぞれの入試方式で特に重視するものとあると思うが、両者の違いが分かりづらい。また、それをどのような方法で問えるのか、と文章だけを読むとわからない点もある。

3-2 学生の受け入れ方針は、媒体や表現の工夫等により、情報の得やすさや理解しやすさに配慮されているか。

《概評》

- ・求める学生の概要は理解できるが、受験者が適格性を有するかどうかの判断が難しい。
- ・媒体についてはウェブサイトに出ているのはわかるが、情報の得やすさが工夫されているかどうかは本資料からは判断できない。

《長所》

- ・記載方法に統一感があり、かつ学部学科で何を重視し、どのような選考で何を計測して選抜しようとしているかを、明示しようとしている点は評価できる。
- ・北里大学の中で学部学科を比較して検討しやすい点が評価できる。

《課題》

- ・医学部医学科で「患者や家族の立場になって物事を考え…」、薬学部の「高い倫理観を…」等、入学時点で求める必要があるのか、という疑問を抱いた。
- ・一部学部・学科で行われる選抜方法において、入学者受入方針には記載がない等で整合しないものがあるため、検討を要する。

【整合性】

4-1 「学位授与方針」及び「教育課程の編成・実施方針」は、整合しているか。

《概評》

- ・全体的にカリキュラムポリシーに対しての評価方法の記載がない。
- ・どの学部・学科においても、整合性を意識していることはわかり、評価できる。やはりカリキュラム・マップ等で、学位授与方針と結びつけてカリキュラム編成を説明している学部のもので理解しやすい。

《長所》

- ・特になし

《課題》

- ・研究科においても各専攻科において DP と CP の関係性が判りにくい。

4-2 「学生の受け入れ方針」は、「学位授与方針」及び「教育課程の編成・実施方針」と整合しているか。

《概評》

- ・どのような人材を養成するかについての DP に対して、やや CP が総論的であり、したがって、求める受験者（学生）像に対して、基礎学力についても高等学校まで、どの範囲まで履修していればよいのかの判断がつきにくいかもしれない。
- ・並列して書かれているものの、関連付けて書かれているわけではないので、整合性があるかどうかはわかりにくい。言葉の上では関係があるように書かれているものの、どこまで整合しているのかは、3 ポリシーだけを見てもよくわからないというのが正直な感想。

《長所》

- ・特になし

《課題》

- ・特になし

2021 年度 北里大学外部評価委員会委員

	氏名	現職等
委員長	安井 利一	明海大学 学長 (日本私立大学協会教務研究委員会委員長、 日本高等教育評価機構副理事長)
委員	平田 智則	神奈川県立相模原高等学校 校長
委員	両角亜希子	東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策コース 准教授 (文部科学省中央教育審議会大学分科会 教学マネジメント特別委員会臨時委員)

任期：2021年4月1日～2022年3月31日